

第16期 定時株主総会

平成25年6月25日(火)



アイ・ティー・シーネットワーク株式会社
証券コード: 9422

報告事項

第16期(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

ITC Networks

アイ・ティー・シーネットワーク株式会社
証券コード: 9422

それでは、アイ・ティー・シーネットワーク株式会社
「第16期事業報告」及び「計算書類」について、ご報告いたします。

第16期 事業報告

ITC Networks

アイ・ティー・シーネットワーク株式会社
証券コード: 9422

「事業報告」につきましては、
お手元の「招集ご通知」の3ページから17ページに
記載の通りであります。その概要をご報告いたします。

事業の経過およびその成果

当事業年度の日本経済

年度
後半

大胆な
経済財政政策

円高の是正

株価回復の動き



東証出来高	125826
TOPIX	25522
日経300	52840
東証1部単純平均	614
東証1部	



長期化するデフレなど

▶ 雇用・所得環境は改善されず

先行き不透明な状態で推移

まず、「会社の現況に関する事項」の、「事業の経過及びその成果」につきましては、当事業年度におけるわが国経済は、年度後半に、新政権による大胆な経済財政政策の転換により円高の是正や株価回復の動きが見られたものの、長期化するデフレなどにより雇用・所得環境は改善されず、先行き不透明な状態で推移いたしました。

事業の経過およびその成果

携帯電話市場

スマートフォン

購買意欲の高まり

LTE端末

買替え需要の増加



販売が好調に推移

当社が事業活動を展開する携帯電話市場におきましては、引き続きスマートフォンの購買意欲が高く、LTE端末への買替え需要も増加していることもあり、販売が好調に推移しました。

■ 合併

平成24年10月1日

パナソニック テレコム株式会社と合併

**組織や拠点の
統合**

**情報システムの
一元化**

このような事業環境の中、
当社は、平成24年10月1日付で
パナソニック テレコム株式会社と合併をいたしました。
本合併の効果をいち早く享受するため、
組織や拠点の統合および情報システムの一元化など
積極的に推進してまいりました。

事業の経過およびその成果

販売強化

スマートフォン販売強化

販売台数 前年度比 **40.9%増**

- キャリア認定ショップの移転・改装

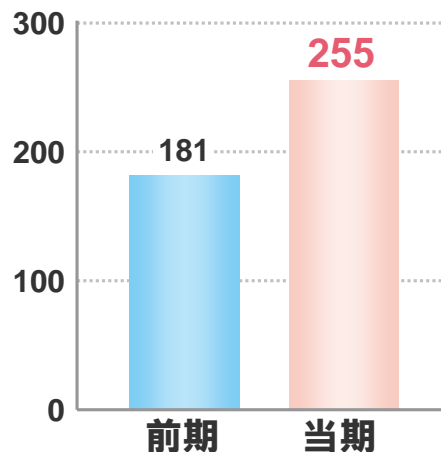


- ショップスタッフの教育・販売ノウハウの共有

効率化

お客様満足度向上

(単位:万台)



また、市場が活性化している中で、スマートフォン販売強化のため、キャリア認定ショップの移転・改装やショップスタッフの教育・販売ノウハウの共有による効率化とお客様満足度向上に努めました。その結果、販売台数は前年度比40.9%増の255万台となりました。

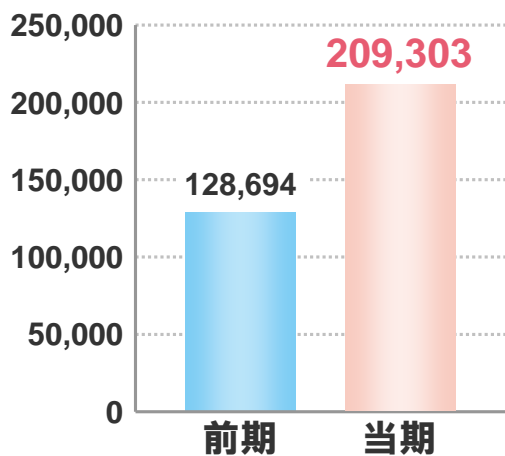
事業の経過およびその成果

売上高、営業利益

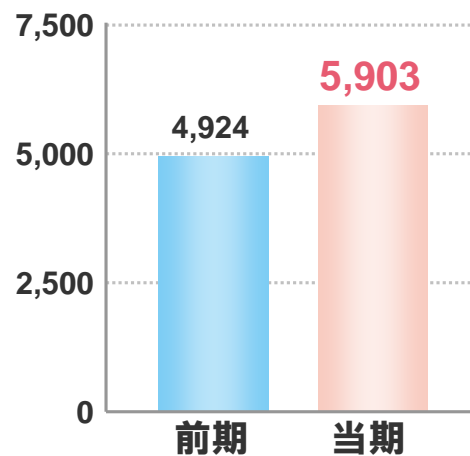
売上高 前年度比 **62.6%増**

営業利益 前年度比 **19.9%増**

(単位:百万円)



(単位:百万円)



当事業年度の売上高は
前年度比62.6%増の2,093億3百万円、
営業利益は前年度比19.9%増の59億3百万円となりました。

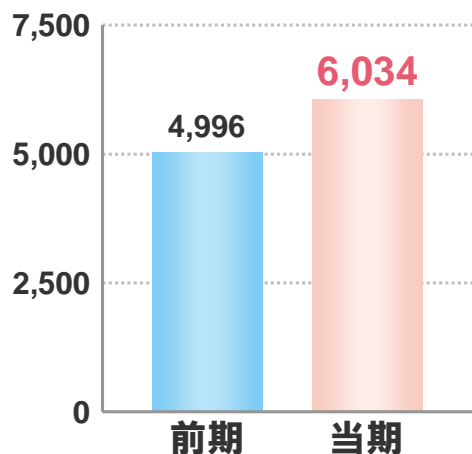
事業の経過およびその成果

経常利益、当期純利益

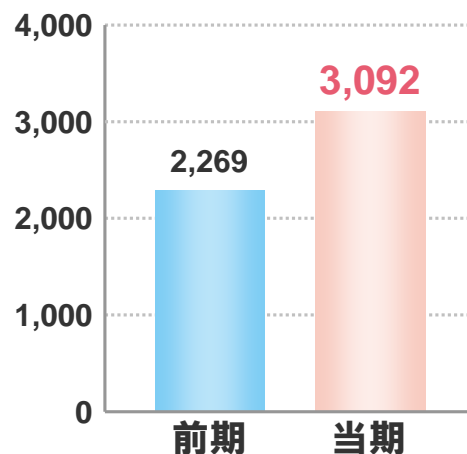
経常利益 前年度比 **20.8%増**

当期純利益 前年度比 **36.3%増**

(単位:百万円)



(単位:百万円)



経常利益は前年度比20.8%増の60億34百万円、
当期純利益は前年度比36.3%増の30億92百万円となりました。

● コンシューマ事業

キャリア認定ショップ網の拡充

キャリア認定ショップの移転・改装

▶ 販売台数の増加



次に、セグメントの業績について、ご報告いたします。

コンシューマ事業では、
合併に伴うキャリア認定ショップ網の拡充に加えて、
旺盛なスマートフォン需要に対応するため、
接客カウンターの増設やスマートフォン体験スペースの拡張
を目的としたキャリア認定ショップの移転・改装を
積極的に進め、販売台数が増加しました。

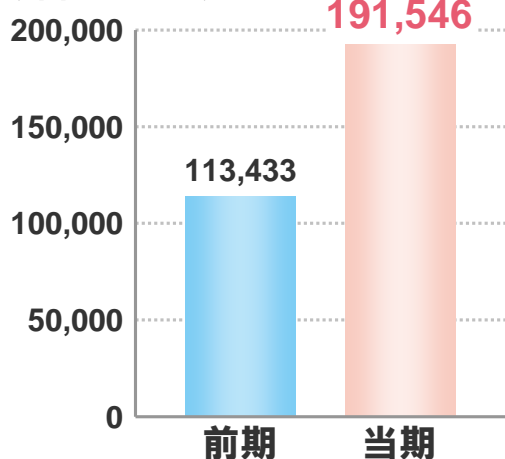
事業の経過およびその成果

● コンシューマ事業

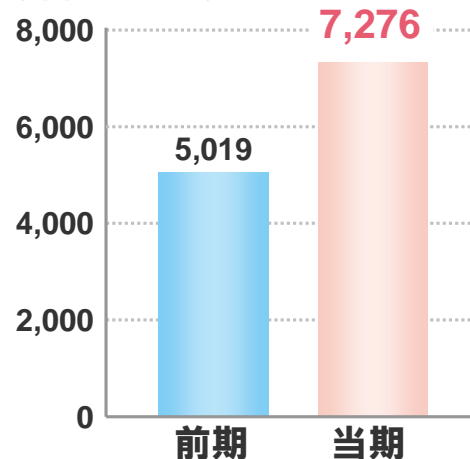
売上高 前年度比 **68.9%増**

営業利益 前年度比 **45.0%増**

(単位:百万円)



(単位:百万円)



この結果、当事業年度の売上高は前年度比68.9%増の1,915億46百万円、営業利益は前年度比45.0%増の72億76百万円となりました。

● 法人事業

合併に伴う顧客基盤の拡大

E-PORTER
イーポーター



ITC Networks
マネージドサービス



企業の投資抑制



**スマートフォンへの
買替促進できず**

法人事業では、合併に伴い顧客基盤が拡大したことを受け、回線管理サービスの「E-PORTER」や携帯電話の管理業務のアウトソーシングである「マネージドサービス」を始めとした各種法人向けサービスのクロスセルを進めましたが、企業における投資抑制が続いており、スマートフォンへの買替えを促進することができず、通信キャリアからの手数料の減少を補うには至りませんでした。

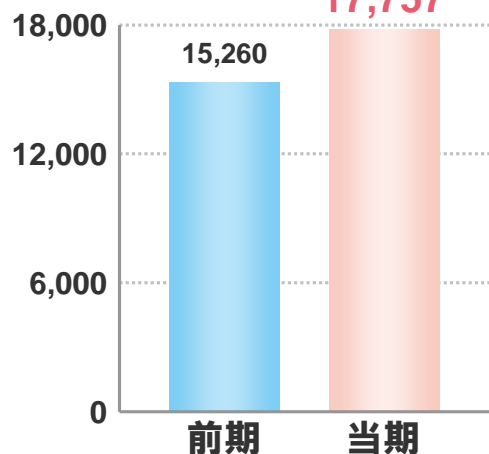
事業の経過およびその成果

法人事業

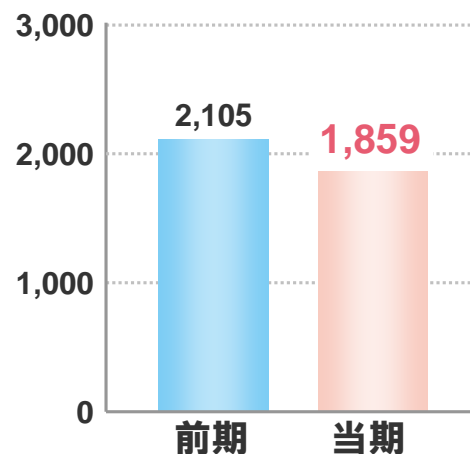
売上高 前年度比 **16.4%増**

営業利益 前年度比 **11.7%減**

(単位:百万円)



(単位:百万円)



この結果、当事業年度の売上高は前年度比16.4%増の177億57百万円、営業利益は前年度比11.7%減の18億59百万円となりました。

第16期 計算書類

ITC Networks

アイ・ティー・シーネットワーク株式会社
証券コード: 9422

続きまして、「計算書類」につきましては、
お手もとの「招集ご通知」18ページから20ページに
記載のとおりであります。その概要をご報告いたします。

貸借対照表



(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	63,140	流動負債	53,949
固定資産	24,156	固定負債	5,085
		負債合計	59,034
		純資産の部	
有形固定資産	3,728	株主資本	28,025
無形固定資産	16,327	資本金	2,778
投資その他の資産	4,099	資本剰余金	9,779
		利益剰余金	15,467
		自己株式	△0
		評価・換算差額等	236
		純資産合計	28,262
資産合計	87,297	負債・純資産合計	87,297

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

「貸借対照表」につきましては、
 資産合計は872億97百万円、負債合計は590億34百万円、
 純資産合計は282億62百万円となりました。

損益計算書



(単位:百万円)

科目	金額
売上高	209,303
売上原価	172,112
売上総利益	37,191
販売費及び一般管理費	31,288
営業利益	5,903
営業外収益	176
営業外費用	45
経常利益	6,034
特別利益	0
特別損失	247
税引前当期純利益	5,787
当期純利益	3,092

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

「損益計算書」につきましては、すでにご報告の通り、売上高は2,093億3百万円、営業利益は59億3百万円、経常利益は60億34百万円、当期純利益は30億92百万円となりました。

なお、「株主資本等変動計算書」につきましては、お手元の「招集ご通知」20ページに、「個別注記表」につきましては、当社ホームページに記載のとおりであります。

対処すべき課題

ITC Networks

アイ・ティー・シーネットワーク株式会社
証券コード: 9422

続きまして、「対処すべき課題」について、ご説明いたします。

平成24年10月1日

パナソニック テレコム株式会社と合併

着実に融合を進める

本合併の効果を最大化

企業価値向上

当社は、平成24年10月1日に
パナソニック テレコム株式会社と合併し、
着実に融合を進めてまいりましたが、
本合併の効果を最大化し、
企業価値向上を実現できるように活動していくことが
次期の最大の課題であると考えております。
加えまして、経営課題として認識している
次の活動にも継続的に注力してまいります。

①成長のために

合併に伴い拡充したお客様接点やお客様基盤

お客様の購買行動の
変化に適応した売場づくり

開通センター ヘルプデスク
コンタクトポイントづくり



積極的に投資

販売力の強化

第一に、
合併に伴い拡充したお客様接点やお客様基盤を活かし、
お客様の購買行動の変化に適応した売場づくり、
開通センターやヘルプデスクなどのコンタクトポイントづくりに
積極的に投資を行い、販売力の強化を行います。

①成長のために

お客様の求める
サービス・商品を見極め

通信キャリア以外からの
各種の収益

付加価値を提供

新たな柱に育成

量販店・ショップ店頭

関連する領域の
経営資源を結集

お客様満足の向上

強み

経験

法人のお客様

Win-Winの関係を構築

収益源の多様化

<ベストパートナー>

また、お客様の求めるサービス・商品を見極め、
付加価値を提供することで、
量販店・ショップ店頭ではお客様満足の向上、
法人のお客様に対してはWin-Winの関係を構築し
ベストパートナーとして選ばれるようになります。
加えて、通信キャリア以外からの各種の収益を
新たな柱に育成するために、
関連する領域の経営資源を結集し、
当社の強み・経験を活かして収益源の多様化を進めます。

② 経営体質強化のために

合併によりもたらされた幅広いスキル・ノウハウ

人財の定着化を促進

販売現場の生産性向上



第二に、
合併によりもたらされた幅広いスキル・ノウハウを活かし、
人財の定着化を促進させるとともに
販売現場の生産性向上に努めます。

② 経営体質強化のために

- 間接業務を中心とした重複業務の見直し
- 環境変化に連動した人員の最適配置
- 規模のメリットによる合理化



より強い経営体質に進化

また、間接業務を中心とした重複業務の見直し、環境変化に連動した人員の最適配置を行うと同時に、規模のメリットによる合理化を推進し、より強い経営体質に進化してまいります。

対処すべき課題

③ 人づくりと社会貢献

お客様の感動のために
自ら行動する人財を育成

その行動を相互に
賞賛し合える
企業風土を構築

コンプライアンス意識
高く保つ

情報セキュリティ
細心の注意



第三に、

お客様の感動のために自ら行動する人財を育成し、
その行動を相互に賞賛し合える企業風土を
構築してまいります。

また、これまで同様に、コンプライアンス意識を高く保ち、
情報セキュリティに対しても細心の注意を払ってまいります。
地域社会、環境への貢献活動も引き続き実施してまいります。

社名変更及び 新企業理念制定

ITC Networks

アイ・ティー・シーネットワーク株式会社
証券コード: 9422

続きまして、
平成25年10月1日に予定しております
「社名変更及び新企業理念制定」について、ご説明いたします。

融合推進委員会の設置



合併した両社が真に融合し、更なる成長を目指していくために、統合新会社にふさわしい企業理念を制定し、それを象徴するような社名を制定することとし、合併直後から「融合推進委員会」を立ち上げて検討を重ねてまいりました。

新企業理念につきましては、両社の選抜社員と役員がワークショップを重ねて決定いたしました。

人をつなぐ、価値をつなぐ

私たちが目指すこと (存在意義)

私たちは、一人ひとりの想いを大切に、
お客様の感動を生み出し
安心で快適な暮らしと社会の実現に貢献します

私たちが大切にすること (経営姿勢)

一人ひとりが主役

私たちは、自主・自律する一人ひとりが
互いを尊重し合う環境を育みます

つなぐよるこび

私たちは、自らの成長を原点に、つながるすべての人々へ
よるこびの輪をひろげ、信頼の絆を深めます

社会を担う責任と誇り

私たちは、暮らしとビジネスのライフラインを担う
責任を深く自覚し、誇りとします

私たちの判断や行動のよりどころ (行動指針)

私たちは、お客様のために

主体的に

自ら考え、自律的に行動し、新しいことに挑戦します

フェアに

高い倫理観をもって公正に行動します

誠実に

感謝を心に刻み、素直な心で行動します

チームワークのもとに

多様性を活かし、高い成果を生み出します

現場を起点に

お客様接点である現場を大切に、発想し行動します

考え、行動します

「人をつなぐ、価値をつなぐ」には、
「私たちが、お客様一人ひとりの想いを、
より深くつなぐチカラでありたい」、そして、
「人をつなぎ、情報をつなぐことで、提供する価値を高め、
私たちにつながるすべての人々と感動の連鎖を創造していく
企業でありたい」という想いが込められています。

CONEXIO

人をつなぐ、価値をつなぐ

コネクシオ株式会社

(英文表記: CONEXIO Corporation)

新社名につきましては、社員から公募した1000件近い案の中から選定した「コネクシオ」に決定したく、後ほど議案にておはかりします。

コネクシオは、ラテン語の「絆」を語源としています。
「私たちが、お客様一人ひとりの想いを大切につなぐとともに、
つながるすべての人々へよろこびの輪をひろげ、信頼の絆を深めていく」、
という願いと熱き決意が込められています。

ロゴマークにつきましては、全体をかたどる大きな円弧は、
人と人、企業と企業、そして価値をつなぐ架け橋をイメージしています。
人をつなぎ、情報をつなぐことで、感動、よろこびをひろげ、
新たな価値を創造していく企業姿勢を表現しています。
また、先進性と清新さを象徴する明るいブルーは、
お客様一人ひとりの想いを先取りするサービス創出に取り組む
私たちの未来視線と誠実さを表現しています。

この新たな理念/象徴となる形を、社員一人ひとりが共有し、
求心力と革新力をいっそう高めつつ、株主の皆様を始めとする
全てのステークホルダーの皆様には選ばれる企業を目指してまいります。

剰余金の配当等の 決定に関する方針

ITC Networks

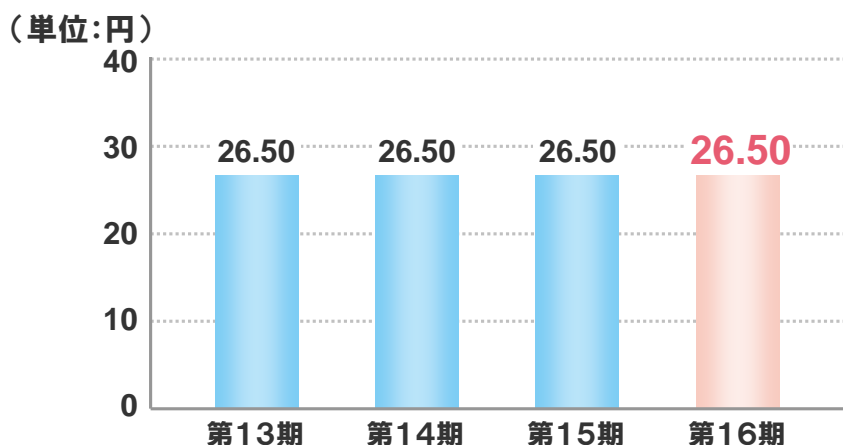
アイ・ティー・シーネットワーク株式会社
証券コード: 9422

最後に、「剰余金の配当等の決定に関する方針」について、
ご報告いたします。

■ 配当方針・年間配当額

「配当性向40%超」を基本方針とする

当期 1株当たり**26.50**円 配当性向**43.1%**



当社は、株主の皆様に対する利益還元を
経営の重要課題の一つとして認識しており、
「配当性向40%超」を基本方針としております。

このため、当事業年度の年間配当につきましては、
1株につき26.5円、配当性向は43.1%として、
後ほど議案にておはかりします。

今後とも企業価値を継続的に高めることで、
安定的な株主還元を目指してまいります。

なお、内部留保につきましては、
新規販路拡大や事業展開資金に活用し、
事業の拡大・成長を図ってまいります。

- **設備投資の状況**
- **吸収合併又は吸収分割による他の法人等の事業に関する権利義務の承継の状況**
- **財産及び損益の状況の推移**
- **重要な親会社及び子会社の状況**
- **主要な事業内容**
- **主要な事業所**

ただいまご説明した内容のほか、「設備投資の状況」、
「吸収合併又は吸収分割による他の法人等の事業に関する
権利義務の承継の状況」、「財産及び損益の状況の推移」、
「重要な親会社及び子会社の状況」、「主要な事業内容」、
「主要な事業所」、

- 従業員の状況
- 主要な借入先及び借入額
- 会社の株式に関する事項
- 会社の新株予約権等に関する事項
- 会社役員に関する事項
- 会計監査人の状況
- 会社の体制及び方針

「従業員の状況」、「主要な借入先及び借入額」、
「会社の株式に関する事項」、
「会社の新株予約権等に関する事項」、
「会社役員に関する事項」、「会計監査人の状況」、
「会社の体制及び方針」につきましては、
いずれも記載のとおりであることをご報告いたします。

第16期 定時株主総会

平成25年6月25日(火)

ITC Networks

アイ・ティー・シーネットワーク株式会社
証券コード: 9422

以上、「第16期事業報告」及び「計算書類」について、
ご報告いたしました。